

墨東病院を都立で存続を!



亀戸歩行者天国で宣伝・署名運動する「会」の人々=11月11日

新たな情勢のもと

要求実現!

第3回定例会は、参院選で自公が敗北、要求運動が広がる中で開催されました。8人の共産党区議団は各団体と懇談、学習会や住民集會に参加し、議会内外で奮闘しました。

後期高齢者医療問題で江東社会保障協議会が陳情書を、保育料値上げ反対や亀戸第一保育園の民間委託反対などで保育問題協議会や父母の会が要請行動、建築紛争、小名木川貨物駅跡地問題や旧公団住宅の削減・売却問題、医療・介護保険問題など各委員に多くの区民が傍聴しました。

全国いっせいで学力テスト結果の公表はしない」と校長会に「学校ごとの公表は行わない」と答弁、大きな変化

「地域経済活性化基本条例」制定に向け前進

07年度補正予算案、6年度決算認定案に反対

「墨東病院を採算優先でなく都立のまま存続を」の区民の声を無視し、11月1日開かれた、都立病院経営委員会は、独立行政法人化(不採算部門を切り捨てる)を打ち出した報告書を提出。区民の怒りの運動が広がっています。

都民の財産 都立病院を守る運動を

署名、29日には墨東病院門前で病院を利用して入る患者に訴えたと行列ができ285人が署名、11月11日にはJR亀戸駅前歩行者天国で409人の署名をあげました。



都立墨東病院

安田茂雄さん(都立墨東病院を直営で存続させる会代表)は「産科・小児科、外科などの医師不足が広がっている今日、都立病院の機能の充実は、都民の命と健康を守ることにこそ自治体

「会」は9月13日発足以来、「墨東病院直営存続を」の宣伝・署名を10月7日、JR錦糸町駅前でおこない、480人の

条例制定に向けて大きくふみだしました。

安心して出産の治療が受けられるよう直営で!

署名、29日には墨東病院門前で病院を利用して入る患者に訴えたと行列ができ285人が署名、11月11日にはJR亀戸駅前歩行者天国で409人の署名をあげました。

独立行政法人とは=自治体が50%以上を出資し議会で定款を定め、知事や総務省の認可を得て設置。企業会計原則が導入され、評価制度の導入によって効率化を追求。議会による関与は限定され、住民監査も及ばないなど地方自治を形がい化させ、行政サービスの低下、縮小・廃止など多くの問題が指摘されている。

「この11年間、私たち患者・原告は支援者の方々とともにトヨタ本社前に座り込み暑さ、寒さに負けず闘ってきました。ほんとうにうれしい、誇りたい!」終わりの言葉が重い。東京大気汚染公害裁判の「江東・墨田連絡会合同祝賀会」でのこと。96年、ディーゼル汚染根絶と被害者救済制度確立を求め、国、都、首都高速道路公団、自動車メーカーを訴え裁判。でも勝利の確信は持てなかった。しかし、原告を個人、団体が支え、励まし、広範な世論に訴え和解が成立した!この成果は「終わりではなく、『東京にきれいな空をつくる』まで闘う、その始まり」だという!江東区は15歳以上気管支ぜん息患者が千五百人を超え、NO2も0.038PPM(大気汚染測定運動東京連絡会)と汚染度は23区の中で最悪クラス。きれいな空気の江東をめざし、今回の和解から学び運動を広げることが求められる!とつとつと話す原告の言葉に、ひたむきに闘うことが支持者を増やし、世論を変え、勝利への道であることを胸に刻みま

「この11年間、私たち患者・原告は支援者の方々とともにトヨタ本社前に座り込み暑さ、寒さに負けず闘ってきました。ほんとうにうれしい、誇りたい!」終わりの言葉が重い。東京大気汚染公害裁判の「江東・墨田連絡会合同祝賀会」でのこと。96年、ディーゼル汚染根絶と被害者救済制度確立を求め、国、都、首都高速道路公団、自動車メーカーを訴え裁判。でも勝利の確信は持てなかった。しかし、原告を個人、団体が支え、励まし、広範な世論に訴え和解が成立した!この成果は「終わりではなく、『東京にきれいな空をつくる』まで闘う、その始まり」だという!江東区は15歳以上気管支ぜん息患者が千五百人を超え、NO2も0.038PPM(大気汚染測定運動東京連絡会)と汚染度は23区の中で最悪クラス。きれいな空気の江東をめざし、今回の和解から学び運動を広げることが求められる!とつとつと話す原告の言葉に、ひたむきに闘うことが支持者を増やし、世論を変え、勝利への道であることを胸に刻みま

平和・くらし風土記 23

木場労働運動のあゆみ ① 近代的労働運動の夜明け

広重の江戸百景に描かれた深川木場は、四方が川・縦横に運河が通じ貯木場が点在。木場千軒という材木店がひしめいて、川並・木挽職人が働いていました。

1899年機械製材が導入され、製材工場労働者群が生まれます。1923年関東大震災で需要が急増すると、最盛期には275工場で労働者は2765人に達しました。

しかし復興景気も東の間で、外材輸入や生産過剰による不況で倒産、廃業におこまれ、賃下げ、工場閉鎖、解雇がおそいかかりました。当時の南葛労働運動に学んだ木材労働者たちは、26年4月平田啓太郎、稲垣佐太郎らを中心に深川製材職工大会を開催、500人を擁する東京木材労働組合を結成しました。木場に密集している木材産業は、中小零細の企業規模の製材、加工工場や材木問屋などに働く労働者によって支えられています。

封建的な徒弟制のもとで低賃金と劣悪な労働条件に喘いでいる木材労働者は労働組合の結成によって職場の枠を乗り越えて連帯していきました。

発足当初から役員の中で共産党員グループに反発する分裂、また共同闘争の中での統一を経て、27年6月には従業員18人の深川製材所の組合員解雇に反対、官憲や右翼の妨害を排して27工場424人のストライキを決定し、封建的



封建的徒弟制の残る木場の風土を震撼させました。

28年3・15共産党弾圧で役員の大半が検挙されると、職制の組織や労働農民党、社会大衆党の系列に入る日本木材労組と関東製材従業員会に分断されます。しかし政党系列の組合に分断されることがあっても、共通の要求にもとづいて、29年には各団体が共同して開いた木材労働者大会には800人が結集しました。

31年日本が15年戦争に突入すると、木材労組は壊滅状態となり、40年になると戦時経済下の木材統制法によって、木場は業者も労働者も暗黒の時代を迎えることになりました。



完成予想図

東陽町南端、運河沿いにある7・7世帯の閑静なマンションの東側道に接した竹中工務店の所有地に、大きな建物が建築工事中です。
CS放送などITの花形企業スカイパーフェクトが宇宙衛星と交信する7・6m12基、6・4m6基の巨大アンテナを屋上に設置する計画です。
電磁波に起因する健康被害を恐れる住民たちは、カンパを募り一万五千筆余の署名を集めて関係各所に陳情するとともに、18人の原告団と5人の東部法律事務所弁護士が「アンテナ設備建設差止請求」を東京地裁に提訴しました。



マスコミ各社も報道した第一回公判で意見陳述した猪又和子原告団長は語ります。
「私はちが司法に訴えるのは、強力な電磁波が24時間365日何10年もマンションの真上に放射され、知らぬ間にうける健康被害を心配するからです。専門家は電磁波過敏症やガン、白血病の発症や、IHクッキングヒーターで妊婦が流産したり、携帯電話でも男子の精子減少などの事例を指摘しているのに、会社側は『基準値以内で安心』の一点張りです。憲法に保障された健康で平和な暮らしを営む権利を、企業の利益のために蹂躪されることは絶対に許すことができません」
取材中に出会ったお年寄りも「命が縮む思いですよ」と肩をすくめていました。

江東区議会建設委員会も住民の請願をうけて、対応を始めています。10

憲法25条で保障された健康で文化的な生存権の最低基準である生活保護費を削る、高齢加算や母子加算の減額・廃止の取り消しを求める裁判に連帯してたたかうため、10



人間裁判ふたたび
生存権裁判を支える
江東の会結成
月12日総合区民センターにおいて、区内8団体62人が参加して「東京生存権裁判を支える江東の会」の結成総会が開催されました。
総会に先立って12人の原告団から鈴木カツエさん、八木明さんが駆けつけ、「夫に先立たれ、病気がちな娘をかかえ生活保護を受けて、なんとか生活してきましたが、高齢加算を削られたらとても生きていけません。人間らしく暮らしていくことを保障した憲法や生活保護法を守るために裁判に訴える決意をしました。みなさんの支援を」と切々と訴えました。

「支える会」として①裁判の傍聴・宣伝・署名活動、学習会②ニュース「生きる」発行③会員拡大などの活動方針。団体費一口3000円、個人10000円の年会費等による予算案が承認され、15人の世話人と3人の事務局の他会計・会計監査が選出されました。
閉会にあたり、役員を代表して佐藤慶守の会長は「生活保護基準の引き下げはすべての国民の生活にかかわる問題、世論を結集して勝利するまでがんばろう」と力強く決意表明をしました。

須山都生連会長からは44年間続いた高齢加算復活を要求する全国8ヶ所と、2月14日に提訴した東京の裁判の経過と見通し、「支える会」のとりくみについて報告と激励の挨拶がありました。
議事に入ると4回にわたり話しあって準備された活動方針、会則と予算案、役員体制の提案がさ

- 11・12月の行事案内
- 11月27日(火) 14時 19時の二回、映画「花の夢」上映
- 総合区民センター
- 2日(日) 10時、江東区高齢者集会、講演 大原穰子、午後 分科会
- 総合区民センター
- 7日(金) 18時半、墨東病院存続のシンポジウム、すみだ産業会館8F
- 14日(金) 18時、結成60周年記念レセプション、都教祖江東支部、ティアラこうとう大会議室

